

「アジアで領土争いをするべきじゃないですし、吸血鬼と夜に戦うべきでもないですね」
——“サンクチュアリー・ファイブ”

何が変わった？

このシートはナイトフォールのルール v.1.31 に対応している。

アバターにより君自身が騒乱の中へ。

攻撃しているミニオンがダメージを受けることがある。

アバター

ゲーム中におけるプレイヤー自身を表すアバターカードが導入される。プレイヤーは自身に合うアバターでのゲームを念頭に置くことになる。アバターの採用は完全に任意である。

アバターを使用する場合、準備の最初の段階でアバターをシャッフルし、各プレイヤーに同枚数ずつを配り(端数はボックスに戻す)、それらのドラフトを行う。アバターを1枚選んで裏向きに置き、残りを隣に渡し、これをすべてのカードが選ばれるまで行う。このカードは、共有物と個人アーカイブのドラフトが終わるまで裏向きのままにしておく。

メインのドラフトの終了後、各プレイヤーは自分のアバターを1枚(またはどれも使わないことを)選び、それを表向きに自分の前に出し、残りをボックスに戻す。その後、複数のセットを使用している場合、プレイヤーは開始デッキの構築を行う。

攻撃しているミニオンに対するダメージ

「闇の怒り」のカードの中には、攻撃しているミニオンに対してダメージを与えるものがある。攻撃しているミニオンがこのダメージにより破壊される場合、それによる攻撃は完全に無効になる。ただし、これにより防御プレイヤーがブロックに割り当てを変更できるわけではない点に注意。

追加FAQ

《あり得ない事態》(DR) : オンラインの FAQ は www.nightfallgamc.com/faq へ。質問はお気軽に。

《ヴァドゥーの司祭》(ハンター) (DR) : 負傷効果を解決したことによって引いたカードに追加して2枚カードを引く。

《急襲》(DR) : このキッカーで、獲得フェイズ以外でカードを獲得できる。

《“ケイン・アルピノ”》(DR) : 攻撃の順番が関係してくる場合、防御プレイヤーのブロックの宣言よりも先に攻撃プレイヤーが攻撃の順番を宣言する。

《“ゴースト・ワン”》(プロモ) : このカードが場にある間、ミニオンにつけられようとするあらゆるアクションは代わりに捨てられる。このキッカーで、獲得フェイズ以外でカードを獲得できる。

《再生》(DR) : これは、つけられているミニオンによってブロックされたミニオンそれぞれにつき1回発動する(これにより、非常に嫌らしいコンボが発生しえる)。

《“サンクチュアリー・ファイブ”》(DR) : すべての防御プレイヤーがこの戦闘効果を発動する場合、攻撃プレイヤーは攻撃ミニオンを割り振れず、「このカードが攻撃した時」の効果も解決しない。攻撃プレイヤーは単純に戦闘フェイズを終了し、自分のミニオンを捨てる。

《水路の廃人》(DR) : 防御プレイヤーは、この負傷を防ぐためには2体をブロックに割り振らなければならない。

《地上部隊》(DR) : このキッカーは、アクティブプレイヤーのチェーンにあるカードを参照する。すでに場に出ているカードではない。

《血の契約》(DR) : プレイヤーはカードを獲得するために通常のコストを支払わなければならない。

《復活せし者》(DR) : 君の捨て札パイルにミニオンが2枚未満しかない場合、可能な限り場に出す。場に出した数に関係なく、常に負傷2を受ける。

《ボディーアーマー》(DR) : 1体のミニオンにこれを複数つけても追加の恩恵は受けられない。これには「最初の2ダメージ」と明記されているからである。

